



広報

まつやま

主な内容

- 守ろう「ごみ出しルール4原則」…2面
- 移動図書館「つばき号」巡回日程…4面
- 市民ガイド…5~9面
- 中島トライアスロン…10面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山

触れ合いを体験

島の楽しみ方に興味があり参加しました。海が見えるとうれしくなります。地域の人や参加者との触れ合い体験を、今後、新しい友達づくりに生かしたいです。



南 萌子 さん
(荏原小6年)

参加者の声



指導員のアドバイスの下、楽しくミカンの摘果作業をする子どもら(8月20日)

体験学習 in ごごしま

子どもの豊かな人間性を育成



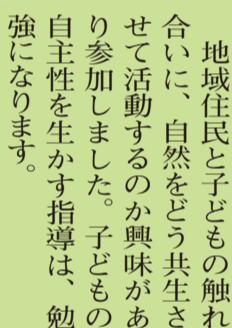
杉野 尚志 さん
(泊町)

島との縁を大切に

地域住民の声

将来、また島を訪れたいとか住んでみたいとか、子どもの人生に「興居島との縁」がずっと続いてほしい。会うたびに元気になっていく姿を見るとうれしいです。

ボランティアの声



平野 涼子 さん
(愛媛大2回生)

地域の指導に興味

「子どもの声」、地域の活力に

自然・文化体験を通して子どもの豊かな人間性・社会性をはぐくもうと実施している「愛ランド里島体験学習 in ごごしま」。市内の小中学生45人が興居島の住民とともに6月から活動しています。また活動支援として高校生・大学生17人がボランティアで参加。「子どもの声が聞こえるとうれしくなるんよ」と地域住民は話し、活動の日、島はにぎやかになります。

地域の指導に興味

「子どもの声」、地域の活力に

「興居島自慢のミカン、海文化、全部を体験させてやりたい」と、地域で考えた体験メニュー。これまでの小富士山登山やミカン畑の草引き、釣島灯台の見学などに続き、8月20・21日はミカンの摘果やミニ島四国、地引網体験などを実施しました。



ミニ島四国の俳句づくりで句をひねり出す子どもら(8月20日)

お問い合わせは、(敬地域学習振興課 ☎948 6813・FAX 934 1745)

「興居島自慢のミカン、海文化、全部を体験させてやりたい」と、地域で考えた体験メニュー。これまでの小富士山登山やミカン畑の草引き、釣島灯台の見学などに続き、8月20・21日はミカンの摘果やミニ島四国、地引網体験などを実施しました。

農業経験のない子どもが多く、良いミカンを育てるための摘果では、どの実をのけるのか地元の指導員に聞きながら作業に取り組みました。また、毎年春に島内のお堂など88カ所がお遍路でにぎわう「島四国八十八カ所」。このうち5カ所を歩き、各場所から提出された課題を考える「ミニ島四国」体験では、各班みんなで協力し俳句づくりなどに挑戦しました。

今後、秋に県無形文化財「船踊り」の見学、冬にはミカンを収穫します。また販売体験も計画しており、子どもらが育てたミカンを来年1月に道後で販売する予定です。

お問い合わせは、(敬地域学習振興課 ☎948 6813・FAX 934 1745)

お問い合わせは、(敬地域学習振興課 ☎948 6813・FAX 934 1745)



優勝の瞬間、歓喜を上げる開成A



力を出しきった3位の松山東A



個人最優秀賞の喜びを話す菅さん

【結果】優勝Ⅱ開成A(東京都、準優勝Ⅱ幸田(愛知県)、3位Ⅱ松山東A・厚木東B(神奈川県)▼個人最優秀賞Ⅱ菅千華子(厚木東B2年)

大会は、昨年優勝校の開成A(東京都)が、敗者復活枠からの粘りと勢いで全国の頂点に立ちました。

その開成Aの準決勝の相手は松山東A。敗れはしましたが松山東Aの俳句に対する思いに観客から大きな拍手が送られました。

大会を振り返り宇野究人さん(開成A2年)は「自分たちの力だけでなく、多くの人が支えられた優勝だと思えます」と喜びをかみしめています。

また「未来も来ているのかも蝸牛」で個人最優秀賞を受賞した菅千華子さん(厚木東B2年)は「自分が一番大好きな句なので本当うれしい。今後もっと良い句を作りたいです」と笑顔を見せました。

17文字に高校生の感性をギュッと詰め、一夏の青春を輝かせる「第14回俳句甲子園」全国大会に25都道府県から33校36チームが参加。8月20・21日に大街道商店街と市総合コミュニケーションセンターで開催され、本市からは、松山東A・B、愛光、済美平成が出場しました。

俳句甲子園 開成A2年連続

松山東A 惜しくも3位に

保存してください。いつかまた お役に立ちます